

広報

2015(平成 27)年

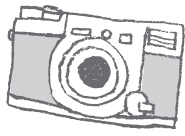
あつま

4

No.752



第2回 魅力発見！ 厚真の四季フォトコンテスト 結果発表



平成26年7月11日から平成27年2月2日まで実施された「第2回魅力発見！厚真の四季フォトコンテスト」。
第2回目は、サブタイトルに「～あなたが選ぶ厚真のベストショット～」を加え、皆さんが厚真の魅力だと感じるベストショットを募集したところ、計55点の応募がありました。

応募作品の審査は3月27日、大岡好住さん（Gスタジオ大岡）、西尾茂さん（写真同好会）、木戸知二さん（厚真町観光協会事務局長）、佐々木春香（役場広報担当）の4名により総合福祉センターで行われ、募集テーマである「厚真町の魅力が表現されている写真」をはじめ、主題性・表現性・瞬間性・独創性など総合的に評価を行い、入賞作品が決定しました。

入賞作品や応募いただいた全作品は、総合福祉センターで4月22日（水）まで展示しています。また、大賞・入選作品は、4月24日（金）から2カ月程度、まちなか交流館「しゃべーる」に展示します。なお、作品の一部は町のPR用として、今後ホームページや町を紹介する媒体等で使用される予定となっています。

【入賞作品】

（敬称略）

最優秀賞

新田 正行（苫小牧市）



優秀賞（3点）



藤原 渡（南幌町）



山内 佳子（札幌市）



田中 憲弘（苫小牧市）

入選（3点）



山内 佳子（札幌市）



加賀谷 祐美子（厚真町）



西村 公孝（苫小牧市）

たくさんのご応募
ありがとう
ございました！



ぼうさい

防災

① 防災の主役は地域の人々

今月号から、広報紙で防災コーナーを担当することになりました、防災アドバイザーの定池です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、2013年から厚真町の防災に関わる機会をいただいています。これまで、町職員向けの訓練に始まり、高規格道路への津波避難訓練、学校での防災学習、防災リーダー（北海道が認定する「防災マイスター」など）の研修会、避難所運営訓練などのために訪問しています。どの取り組みにも真摯に向き合ってください厚真の方々に頼もしさを感じています。

3月、国連世界防災会議と同時に、市民世界防災会議が開催されました。私が参加したシンポジウムの中で、各地の被災地の方々と「防災も復興も、『市民』が主役」、ということを再確認してきました。

「防災は地域づくりである」とも言われますが、主役である地域の方々の関わりがなければ絵に描いた餅になってしまいます。これからも、厚真町の防災のサポートをしながら、防災の主役である、厚真のみなさまに活躍していただく「しかけ」をつくっていきたいと考えています。

そしてこれからは、このコラムの中で防災に関するさまざまなレポートをしていきます。どうぞよろしくお願いいたします！

■プロフィール

定池祐季（さだいけ・ゆき）

東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター（CIDIR）特任助教。

剣淵町出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）。北海道大学助教を経て現職。専門は、災害社会学・防災教育。北海道南西沖地震を奥尻島で経験、災害復興と地域防災に関する研究に取り組むほか、各地で防災教育活動を展開している。2014年より厚真町防災アドバイザー。



今月の内容

- 2㊦ 防災コラム・人口・世帯数
- 3㊦ 第2回魅力発見！
厚真の四季フォトコンテスト結果発表
- 4㊦ こんにちは！厚高です
- 8㊦ 町の補助制度をご利用ください
- 9㊦ 平成27年度厚真町燃やせるごみ用指定ごみ袋
支給事業のお知らせ・町職員の人事異動
- 10㊦ 国民健康保険証更新のお知らせ
- 11㊦ 改正パートタイム労働法と改正次世代法が
施行されました
- 12㊦ まちの話題
- 16㊦ みんなの広場
- 18㊦ 健康情報・ほけんの掲示板
- 20㊦ 情報ひろば

【お知らせ】

平成27年第1回定例町議会の内容につきましては、紙面の都合上、広報5月号に掲載します。ご了承ください。

■今月の表紙

3月13日、厚南中学校（村田宏文校長）で第35回卒業証書授与式が行われ、3年生10人が村田校長から卒業証書を受け取りました。卒業生退場の際には、お世話になった担任の先生へ感謝の言葉が述べられ、卒業生たちは3年間過ごした学び舎を巣立ちました



2015(平成27)年4月 NO. 752

3月31日現在の人口
4,708人(前月比+5)
男 2,314人／女 2,394人
世帯数 2,103(前月比+6)

こんにちは！厚高です

平成26年度が終わりました。『よき市民、よき社会人を育てる』の学校教育目標のもと、「小さいけれどあたたかい学校」「落ち着いた環境の中で、一人一人の個性を大切にした教育をおこなう学校」をスローガンにして、さまざまな教育活動を行ってきた1年でした。

そんな1年間を振り返り、平成26年度の進路状況、資格取得状況、主な部活動成績をお知らせします。加えて、平成26年度の主な行事をご紹介しますと思います。

進学・就職ともに大いに健闘する！

今年の進路状況についてですが、進学と就職の比率は、過去5年間の平均とほぼ同じ、3分の1が進学、3分の2が就職という状況です。

進学では4年生大学が2名、短大が2名、専門学校が6という内訳ですが、その中でも室蘭の日鋼記念病院附属の高看学校への入学がありました。

就職では、トヨタ自動車や苦東

備蓄、日本製紙などの大手企業に加え、農協や北海道銀行・苫小牧信用金庫の2行へ就職が決まるなど健闘が光りました。その背景には、景気の回復という社会情勢以上に、早い段階からの準備と試験対策が実を結んだといえます。

資格取得 今年も順調！

厚真高校では資格取得を奨励しており、多くの生徒が将来に備え、いろいろな資格に挑戦しています。これを手助けしていただいているのが、厚真高校教育振興会です。

す。各種検定料の助成をいただいたり、長期休業中の講習会や見学会等も充実することが可能になっています。

地区大会3連覇！

女子テニス大塚さん

本校テニス部に所属する大塚鈴菜さんが、今年も室蘭支部テニス大会女子シングルスにおいて優勝しました。これにより、1年生での優勝から3年間、胆振地区全大会で無敗という快挙を成し遂げました。過去の記録では、男子の3

連覇はあるものの、女子の3連覇は史上初の快挙です。

また、写真部では、下川原美希さんの作品『早くちようだい』が全道大会で佳作に選ばれるなど、躍進を遂げました。

その他にも、多くの新入生が入部し活気づき熱心な活動が続いているバドミントン部や、地域・施設等と連携しながら社会・地域貢献を行っているボランティア部が、地道な活動で大きな成果をあげました。



進路状況一覧

【進学(10名)】

酪農学園大学農食環境学群、北翔大学学部生涯スポーツ学部、國學院大学短期大学部国文学科、光塩女子短期大学食物栄養科、日鋼記念病院看護学校、札幌放送芸術専門学校タレント総合学科、札幌青葉鍼灸柔整専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道介護専門学校、北海道ハイテクノロジー専門学校

【就職(21名)】

とまこまい広域農業協同組合、新日本海フェリー株式会社苫小牧、自営(農業)、苫東石油備蓄株式会社、苫小牧信用金庫、トヨタ自動車北海道、株式会社苫食、社会福祉法人ふれんど、日本製紙株式会社北海道工場、丸吉運輸機工株式会社、大成産業株式会社、北海道バルブメンテナンス株式会社、栗林港湾倉庫株式会社、株式会社ヤマダ電機、有限会社三昇、日本製紙北海道紙工株式会社、北海道銀行

資格取得人数一覧

【ワープロ検定】 2級2名、準2級6名、3級12名
【情報処理検定】 2級10名、3級17名
【簿記能力検定】 2級4名、3級7名
【電卓能力検定】 2級1名
【日本漢字能力検定】 2級1名、準2級4名、3級7名
【実用英語能力検定】 3級3名
【危険物取扱者】 乙種4類3名、丙種2名

部活動成績一覧

【野球部】

- 春季高校野球大会支部予選
1回戦 対静内 0対10で負け
- 全国高校野球選手権大会室蘭支部
1回戦 対浦河 3対11で負け

【テニス部】

- 室蘭支部高等学校春季テニス大会
女子シングルス…3年 大塚鈴菜 (優勝)
- 高体連室蘭支部テニス選手権大会
女子ダブルス…大塚・森谷 (5位) →全道出場
女子シングルス…大塚 (優勝) →全道出場 (ベスト8)
- 国民体育大会テニス予選大会
女子シングルス…大塚 (優勝) →全道大会出場

【バドミントン部】

- 第66回北海道バドミントン選手権大会苫小牧地区
男子シングルス…高橋 (3回戦)
女子シングルス…折坂 (3回戦)
- 第48回全国高校選抜大会
男子シングルス…柳田 (ベスト16)

【写真部】

- 平成26年度北海道高文連苫小牧支部写真展
優秀賞 2年下川原 → 全道大会出品
奨励賞 3年岩崎、小野

【4月】 入学式(9日)

期待と不安の混じる中、新しい制服に身を包んだ32名の新入生が入学しました。今年度の入学生の出身地は、厚真町が4名、安平町9名、苫小牧市18名、管外1名です。2・3年生と合わせて総勢90名の生徒で今年度がスタートしました。



●PTA総会・参観授業・情報モラル講座(26日)

PTA総会にあわせて3学年それぞれの授業を見学していただきました。いずれも教師と生徒の間でのコミュニケーションを通しての楽しい雰囲気の中での授業が行われており、厚高ならではの授業でした。午後は北海道情報専門学校から講師をお呼びして情報モラル教室を行い、昨今のネット上のさまざまなトラブルの実例について学びました。

【5月】 ●高体連壮行会・各種大会

5月は高体連や野球大会の季節。本校の運動系部活動は現在、野球、テニス、バドミントンの3つです。それぞれの部員が毎日遅くまで熱心に練習しています。そ

のような中、女子テニスでは、3年生の大塚さんが地区大会3連覇の偉業を達成し、新聞などでも大きく取り上げられました。生徒会執行部を中心とする急造応援団が、選手たちを激励しました。



●施設実習(7日、21日、28日)

3年生の「生活福祉基礎」という選択授業の一コマです。「施設訪問」や「地域高齢者との交流実習」があります。

この実習を通して、福祉について学び、他者への思いやりの心を育てようと考えています。



施設実習

●学校連携事業(13日)

厚高は苫小牧東高校と連携しています。国語で週2回、数学で週2回、苦東の2名の先生が本校に出張授業に来てくれています。授業だけではなく生徒の交流もあります。この日は本校の生徒会役員が苦東を訪問し、苦東の生徒会役員と交流してきました。

●1年生職業講話(27日)

専門の外部講師をお招きし、1

年生の職業講話を実施しました。厚真高校は3年生の職場体験学習を柱として、3年間を通してキャリア教育を充実させています。自らの体験・経験や外部講師のお話を聞く機会など、通常の授業では身につけることのできない力を身につけることができます。就職希望者も進学希望者も、将来の職業について真剣に考える機会となりました。

【6月】 ●防災避難訓練(4日)

火災を想定した防災避難訓練を行いました。消防署の職員の指導のもと、避難訓練と消火訓練を行いました。訓練は、逃げるのが目的のすべてではなく、「日頃から防災の意識を持つこと」が大きな目的のひとつです。生徒たちは真剣に取り組んでいました。

●花壇づくり(17日)

1年生が入学記念行事として、玄関前に花だんをつくりました。PTA行事の一環ともなっており、来校いただいた保護者4名とともに花を植える作業を行いました。

今年の花文字は「HAPPY」です。今年の1年



生の明るい雰囲気と合っています。玄関前がぐっと華やいだ雰囲気になりました。

●田舎まつりパレード(21日)

恒例の、あつま田舎まつりのパレードに参加しました。あゆみ会の方々に何度も学校に来ていただいたり、踊りの練習や浴衣の着付け指導などをしていただき、当日の踊りに参加しました。



今年は厚真高校教育振興会から法被を新規購入していただき、昨年までとは違った厚高をお見せすることができました。

●体験談を聞く会(21日)

就職や進学をした卒業生の体験談を聞く会を行いました。現役大学生や、専門学校を卒業したあと厚真リハビリセンターで勤務する方、卒業後すぐに就職し即戦力として社会で活躍している方など、さまざまな立場から後輩に貴重な話をしてくれました。

●職場体験学習(17・19日)

3年生全員の職場体験学習を行いました。これは、事業所での職業体験を通して労働の喜びや厳しさを学ぶことにより、自己の能力や適性を知り、地域社会との連携

を深めながら、社会生活に適応した望ましい職業観と勤労観を育成することを目的として毎年実施しているものです。実習をお引き受けいただきました17事業所の皆さん、ご協力ありがとうございました。



●野球部全校応援(23日)

夏の高校野球大会の全校応援を実施しました。相手は、強豪浦河高校。残念ながら試合は3対11で負けてしまいましたが、急造応援団を中心として全校生徒の熱い応援を受け、野球部員9名とマネージャー2名は必死に戦ってくれました。



野球部員は、少ない人数ながらもしっかりと鍛え上げた技術とキビキビとした動きを見せてくれました。全校生徒と教職員が一体となつて自校を応援することの素晴らしさを実感させてくれた野球部に感謝します。

●全校企業見学（23日）

野球の全校応援終了後、全校生徒がバスで地域の企業見学に行きました。希望者ごとに二手に分かれ、地域を代表する企業である王子製紙苫小牧工場と厚真火力発電所を見学しました。

本年度初の実施となった全校企業見学。地元の大手企業を見学することができ、本校のキャリア教育をますます充実させることができました。

●地域と連携した実習授業（26～27日）

3年生の選択授業「フードデザイン」で、厚真町の地域おこし協力隊で特産品開発支援員として活躍する高田真衣さんを講師としてお招きし、自家製酵母を用いたパン作り実習を行いました。町との連携、地域人材の活用という意義ある取り組みであり、体験的な学習を重視する本校ならではの実践です。普段食べたことがない味のパンが出来上がり、大変貴重な体験をすることができました。

【7月】

●学校祭（11～12日）

最大の生徒会行事である学校祭が2日間にわたって行われました。オープニング企画である生徒会制作の映画上映に続き、各クラスのステージ発表が行われ、体育

館は大いに盛り上がりました。

台風接近による強風を案じて花火は中止しましたが、予定を変更して復活させたグラウンドでのジーンズカンでは、地元の味に舌鼓を打ちました。翌日のバザーも20名もの保護者のご協力で大成功！。思い出深い2日間となりました。



●性教育講演会（24日）

王子総合病院産婦人科の津野靖子副主任を招き、性教育講演会を行いました。男子・女子に分かれて2展開で行い、異性を大切にすることを実感を持って学ぶことができました。

【9月】

●防災教育講演会・NHKテレビ放送会（9日）

東京大学教員で厚真町防災アドバイザーの定池祐季先生をお招きし、防災教育講演会を実施しました。「クロスロード」という防災ゲームによる体験的な実習を通して、考えながら防災について学ぶ内容となっており、1年生32名が受けました。

当日の様子は、9月18日のNHKテレビでも放映されたほか、北海道新聞、北海道通信でも記事掲載されました。

載されました。

●交通安全教室（17日）

苫小牧警察署の村田典繁係長、厚真駐在所の保里敬所長、厚真交通安全推進委員の土居和一さんをお招きし、交通安全教室を行いました。車載カメラでの事故の瞬間の映像を見るなど、交通安全の大切さを実感する内容でした。

●強歩大会（19日）

恒例の強歩大会が行われました。18・6kmという長い行程を走る（歩く）、心身ともにハードな大会です。



12名の保護者の皆さんや警察の職員の方々にもお手伝いいただき、途中の降雨に見舞われながらも、無事故なく実施することができました。

【10月】

●防災避難訓練（2日）

本年度第2回目の防災避難訓練が行われました。今回は地震と火災を想定した訓練で、避難後には消防署職員の指導による救助袋による避難訓練（2年）、負



ムによる対抗形式で行いました。午後からは、生徒会執行部の劇の後、カラオケや弾き語りなど5組が個人発表をしてくれました。生徒会執行部作成の「思い出のスライドショー」をはさみ、全校生徒による「コスモス」の合唱、そして1・2年生による「旅立ちの日に」を合唱し、3年生にプレゼントしました。胸が熱くなる素晴らしい歌声が体育館いっぱいに広がりました。

【1月】

●高齢者交流授業（21日）

本年度最後の高齢者交流授業（3年生生活福祉基礎）が行われました。場所は、本郷マナビイハウスです。



この日は、歌に合わせて歌詞を手話で表現するというものでした。同授業の中で手話を学んで身に付けたものを披露し、拍手喝采を浴び、なんと想定外の「アンコール」が、2回目は皆さんも一緒に手話をまねていただきましたがの披露となりました。

●合格体験発表会（27日）

3年生の進路決定者による合格体験発表会が行われました。進学、就職の2つのグループに分かれて

傷者の搬出訓練（1・3年）を行いました。

本校はともいきの里と隣接しています。いざとなったら高校生は強力な戦力だということを意識してもらいたいものです。

●屋外スポーツ大会（7日）

好天の中、屋外スポーツ大会としてソフトボール大会が行われました。8チームが試合を行い、3年生のチームが優勝しました。お互いに冗談を言いながらの和気あいあいとしたムードの中、楽しく試合をしました。



●中学生1日体験入学（10日）

今年度の1日体験入学を実施しました。参加者は中学生40名、保護者10名、引率教員が8名でした。写真や動画を使つての学校紹介、生徒会の生徒による学校紹介の後、「ひらがなとカタカナの話（国語）」、「カレンダーの数学（数学）」、「英語で遊ぼう！（英語）」、「マット運動（体育）」、「かんたんテイルミスづくり（家庭科）」、「ホームページ作成実習（情報）」という体験授業を選択を受けてもらいました。

非常に落ち着いた生徒さんたちばかりで、いい雰囲気の中で楽し

体験を発表してくれました。

後輩たちには大きな勉強となったことでしょう。

【2月】

●厚真町ランタン祭り（7日）

厚真町のランタン祭りとスターフェスタが行われました。本校は、生徒会執行部が協力し、こぶしの湯の斜面にデザインをしました。

●宿泊研修（8～10日）

1年生が、日高青少年自然の家を会場に2泊3日の宿泊研修を行いました。一昨年から、この時期にスキー学習を中心として行われるようになったこの研修。多くの生徒は生まれて初めてのスキー体験です。

初日の午後からさつそくスキーに挑戦し、2日目は終日グレンデスキーです。グループに分かれ、インストラクターの指導を受けました。最初は転んでいた生徒も、やがてどんどん滑れるようになってと生き生きとして斜面を滑り降りてきました。



【3月】

●卒業式（1日）

第36回卒業式が行われました。

く授業を体験していただくことができました。

●2年生見学旅行（14～17日）

2年生が見学旅行に行きました。台風接近で実施が危ぶまれる中、なんとか台風の側方を抜ける形で飛行機が飛び、現地ではいずれも天候に恵まれ、事故もなく、被爆地である広島、古都の奈良・京都、近代的な都市の大阪のそれぞれの場所ですっかりした見学・研修を積むことができました。

●1年生工場見学（14日）

1年生が工場見学を行いました。6月には全校工場見学を行いました。今回は1学年のみでの実施です。見学したのは、いずれも札幌市の、雪印メグミルク札幌工場と日糧製パン月寒工場の2カ所です。

厚真高校振興会からの予算でバスをチャーターして、丸一日の行程で見学しました。北海道らしい大きな工場の見学で、職業について深く考える機会になったことと思います。

●3年生ドライバーズセミナー（17日）

3年生がドライバーズセミナーを行いました。日高町の富川自動車学校に3年生全員が行き、自動車学校職員、消防組合職員、警察

宮坂厚真町長以下、多数のご来賓や関係者、保護者の皆様にご参列いただき、盛大に式を行うことができました。ありがとうございました。

本校の卒業式は、非常に伝統的なタイプの卒業式です。昨今は、予餞会の要素を入れ込んだような、さまざまな形態の卒業式が行われることが多くなりましたが、本校は他校ではあまり行われなくなってきた「3年生を送る会（三送会）」を別日程で実施しているため、卒業式自体は伝統的な厳かな形式で行っているということです。

伝統的な形だからこそその良さというものが伝わってくる、素晴らしい卒業式だったと思います。



★この他にも、厚高は多くの教育活動を実践しています。学校ホームページでも数多くの内容を掲載していますので、ぜひご覧ください。1年間、広報「あつま」の厚高インフォメーションのコーナーをご覧いただき、ありがとうございました。



【11月】
●手話授業（5日）

11月5日から5週間にわたり、官等による講義（事故の実態と交通社会人としての責任）や実技救急講習、飛び出し、内輪差、シートベルト、コーナリング）を通して自動車の特性や危険予測について学び、交通ルールとマナーを理解しました。

●どさんこ子ども会議（25日）
胆振地区の小・中・高校の児童会・生徒会の子どもが集まり、いじめ撲滅を目的として「どさんこ子ども会議」が開催されました。本校からは小川大広生徒会長が参加しました。

後日、胆振教育局の職員から「厚真高校は非常に素晴らしい生徒がいますね」と高い評価をいただきました。

●2年生大学見学（酪農学園大学）（31日）
2年生の大学見学を行いました。見学したのは、本校卒業生も進学している江別市の酪農学園大学です。

厚真高校振興会からの予算で、バスで丸一日かけて見学しました。模擬授業を体験したり施設を見学したりと、高校とは全く違う学生生活を実感してきました。



平成27年度厚真町もやせるごみ用 指定ごみ袋支給事業のお知らせ



町では、平成25年7月から開始された家庭ごみ処理有料化に伴い、紙おむつを日常的に使用する世帯に対して、もやせるごみ用の指定ごみ袋を支給し、経済的負担軽減を図るための事業を実施しています。

なお、平成27年度分の支給を以下のとおり行います。

～ごみ袋支給事業の対象となる世帯～

- ① 3歳未満の乳幼児と同居している保護者
- ② 厚真町家族介護用品支給事業実施要綱に基づき、紙おむつの交付を受けている方の介護者
- ③ 厚真町心身障害児等に係る日常生活用具の給付等に関する規則に基づき、紙おむつの支給を受けている方またはその保護者

～支給枚数～

上記①～③の対象となる方1人につき、20リットルの「もやせるごみ用指定ごみ袋」を1カ月10枚（年間最大120枚）支給します。

～支給方法～

対象となる方は、4月1日以降に「総合ケアセンターゆくり」または「役場上厚真支所」で申請を行ってください。（※その場で年度分の一括支給を行います。）

なお、申請には印鑑が必要ですので、忘れずに持参してください。

○問い合わせ先○ 役場町民福祉課 町民生活グループ（☎26－7871）



町職員の人事異動

※（ ）内は前職

4月1日付けで町部局等の人事異動が発令されました。

厚真町人事

▶異動（4月1日付）

▷町民福祉課長（農業委員会事務局長）松田敏彦 ▷町民福祉課参事（まちづくり推進課企画調整グループ主幹）吉田良行 ▷産業経済課参事（建設課土木グループ主幹）伊藤文彦 ▷産業経済課商工観光林業水産グループ主幹（総務課税務グループ主査）中島壮一 ▷まちづくり推進課企画調整グループ主幹（町民福祉課福祉グループ主幹）中井徹 ▷町民福祉課地域包括支援センター主幹（町民福祉課地域包括支援センター主査）龍崎ひさえ ▷建設課建築住宅グループ主幹（町民福祉課健康推進グループ主幹）當田美範 ▷建設課土木グループ主幹（産業経済課農政グループ主幹）加藤克彦 ▷まちづくり推進課総合計画策定グループ主幹（建設課建築住宅グループ主幹）押見正敏 ▷総務課総務人事グループ主査（総務課主査《北海道派遣》）奥村与志照 ▷総務課財政グループ主査（総務課総務人事グループ主査）田中紀嘉 ▷産業経済課農政グループ主査（総務課財政グループ主査）佐藤大輔 ▷町民福祉課福祉グループ主査（町民福祉課福祉グループ主任）金澤令仁 ▷町民福祉課子育て支援グループ主査（町民福祉課子育て支援グループ主任）笠原真由美 ▷総務課税務グループ主査（まちづくり推進課事業推進グループ主査）中村真吾 ▷町民福祉課福祉グループ主査（産業経済課農政グループ主査）宮本慎也 ▷まちづくり推進課事業推進グループ主査（産業経済課商工観光林業水産グループ主査）小山敏史 ▷子育て支

援センター主査（宮の森保育園副園長・主査）青木久美子 ▷宮の森保育園副園長・主査（宮の森保育園・主査）宮下葉子 ▷宮の森保育園・主任（こども園つみき・主任）秋田理恵 ▷総務課総務人事グループ主事（町民福祉課福祉グループ主事）池川勲 ▷建設課建築住宅グループ主事（建設課上下水道グループ主事）渡辺亮

▶新規採用（4月1日付）

▷町民福祉課福祉グループ主事 中山亮 ▷町民福祉課健康推進グループ（保健師）内村彩華 ▷町民福祉課健康推進グループ主事 木澤真生 ▷町民福祉課子育て支援グループ（宮の森保育園保育士）蹴揚望 ▷町民福祉課子育て支援グループ（こども園つみき保育士）森田崇公 ▷町民福祉課子育て支援グループ（宮の森保育園保育士）中島真矢 ▷産業経済課農政グループ主事 高垣勇太 ▷建設課上下水道グループ主事 山家和也

厚真町議会事務局人事

▶異動（4月1日付）

▷議会事務局主幹（総務課総務人事グループ主幹）若林修一

厚真町農業委員会人事

▶異動（4月1日付）

▷農業委員会事務局長（産業経済課参事）真壁英明

厚真町教育委員会人事

▶異動（4月1日付）

▷生涯学習課社会教育グループ主査（生涯学習課社会教育グループ主任）奈良智法

▶退職（3月31日付）

▷高田芳和（町民福祉課長）▷中田匡（町民福祉課参事）▷細井恵子（町民福祉課子育て支援グループ主査）▷横山はるか（議会事務局主事）

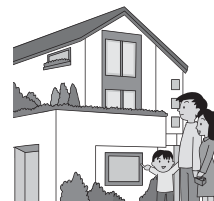
地震対策と地球温暖化防止のため

町の補助制度を ご利用ください

東日本大震災を契機に、地震に対する備えと節電などの省エネルギー対策がますます重要になっています。

町では、地震から人命と財産を守る住宅の耐震化、再生可能エネルギーである太陽光発電の推進や化石燃料の使用を減らすことを推進するため、これらを整備する費用の一部を支援する制度（安全・安心省エネ住宅推進事業）を実施しています。

補助対象となるものは下記の5項目ですので、ぜひご利用ください。



補 助 制 度	補 助 金 額	個 別 補 助 要 件
1. 既存住宅耐震改修費補助	上限30万円	昭和56年以前に着工した、耐震性能評点1.0未満の住宅の耐震改修工事 （町外業者施工も対象となります）
2. 住宅太陽光発電システム設置補助	◎町内業者施工の場合 ⇒ 1Kw当たり10万円 （限度額30万円） ◎町外業者施工の場合 ⇒ 1Kw当たり7万円 （限度額20万円）	太陽光発電余剰電力の売買契約ができる設備、または発電電力をすべて自家使用とする設備を設置する場合（未使用品に限る）で、平成27年4月1日以降の設置かつ年度内に工事が完了し、電力会社との電力受給開始等ができる10Kw未満の発電システム。
3. ペレットストーブ等購入費補助	◎町内の商店から購入した場合 ⇒ 限度額15万円 ◎町外の商店から購入した場合 ⇒ 限度額10万円	①木質ペレットを燃料とするストーブ ②薪等を燃料として、材質が鉄、中鋼板以上のストーブ ③②に類する耐久性を有するストーブ の購入
4. 住宅用LED照明器具等購入費補助	本体購入価格の2分の1 （上限4万円）	住宅用のLED電球、蛍光灯型LEDランプ、LED照明器具の購入。 ※取り付け費用は対象外。町内の商店等からの購入限定で、補助は世帯で1回のみです。
5. 住宅リフォーム推進補助	リフォーム費用の5分の1 （上限30万円）	上記1～3までの工事等と併せて実施する住宅の改修または模様替えの工事。 ※住宅リフォームだけでは該当になりません。

【共通補助要件】

- ①町税の滞納がない方とします。
- ②町内の住宅（店舗等の併用住宅含む）に施工・設置する場合に限ります。
- ③募集期限は平成28年3月31日までで、先着順とします。

なお、各々の補助は、応募状況によって予算の範囲内で変更する場合があります。



補助内容や補助対象など不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】役場建設課 建築住宅グループ（☎27－2325）

改正パートタイム労働法と 改正次世代法が施行されました

平成27年4月1日から「改正パートタイム労働法」と「改正次世代法」が施行されました。
主な改正ポイントは下記のとおりです。

〈パートタイム労働法の改正ポイント〉

パートタイム労働者の公正な待遇の確保

- ①正社員と差別的取扱いが禁止されるパートタイム労働者の対象範囲の拡大（法第9条）
- ②「短時間労働者の待遇の原則」の新設（法第8条）
- ③職務の内容に密接に関連して支払われる通勤手当は均衡確保の努力義務の対象（施行規則第3条）

パートタイム労働者の納得性を高めるための措置

- ①パートタイム労働者を雇い入れた時における雇用管理の改善措置内容の説明の義務化（法第14条第1項）
- ②パートタイム労働者からの相談の窓口の設置と雇い入れ時の「相談窓口」の文書等での明示義務（法第16条、施行規則第2条）
- ③説明を求めたことによる不利益取扱いの禁止（指針第3の3の(2)）
- ④親族の葬儀などのために勤務しなかったことを理由とする解雇は適当ではないこと（指針第3の3（3））

パートタイム労働法の実効性を高めるための規定の新設

- ①厚生労働大臣の勧告に従わない事業主の公表制度の新設（法第18条第2項）
- ②報告の拒否・虚偽の報告をした事業主に対する過料の新設（法第30条）

〈次世代法の改正ポイント〉

法律の有効期限が10年間延長（平成26年4月23日施行）

引き続き平成37年3月31日までの間、一般事業主行動計画の策定、周知公表、届出について、従業員数101人以上の企業においては義務、100人以下の企業においては努力義務となります。

新たな指針に沿った一般事業主行動計画の策定

- （指針の追加内容）
- ①非正規雇用の労働者が取り組みの対象であることを認識の上、取り組みを進めていくことが重要であること
- ②男性の子育てに関する制度の利用促進に係る取り組みや、働き方・休み方の見直しに資する取り組みを進めることが重要であること
- ③計画の実施状況の点検にあたり、PDCAサイクルを確立することが重要であること
- ④育児休業に関する規定を整備し、労働者の休業中の待遇や休業後の労働条件について労働者に周知すること

認定制度の変更

- ①現行の認定制度において、男性の育児休業に係る中小企業特例の拡大や女性の育児休業に係る基準を変更
- ②新たにプラチナくるみん認定制度を創設
- ③くるみん認定企業が受けられる税制優遇措置の3年間延長と内容の見直し



＜問い合わせ先＞ 厚生労働省北海道労働局雇用均等室（☎011－709－2715）

国民健康保険証 更新のお知らせ

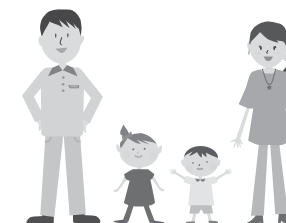
◇5月1日から保険証（被保険者証）が更新となります

現在お使いの国民健康保険証は、有効期限が平成27年4月30日となっています。
5月1日からお使いいただく保険証は、世帯主様宛に世帯全員分を同封して4月中旬以降に郵送します。

簡易書留郵便で郵送しますので、配達時にご不在の場合はポストに保険証は投函されません。「郵便物のお預かりのお知らせ」に書かれた方法でお受け取りください。

なお、保険手続で申請等が必要となる方には別途お知らせしますので、手続き等をお願いします。
一定期間が経過しても保険証が届かない場合は、町民福祉課町民生活グループまでご連絡ください。

※「高齢受給者証」、「限度額認定証」、「後期高齢者医療保険証」の有効期限は7月31日までとなっています。



◇保険証の有効期限

新しい保険証の有効期限は、平成29年4月30日までになります。

※後期高齢者医療保険に変更になる方など、特別な場合は有効期限が変更となります。

◇有効期限の切れた保険証

平成27年5月1日以降は使用できませんので、上厚真支所または町民福祉課に返却するか、はさみで切るなどして処分願います。

◆問い合わせ先◆

役場町民福祉課町民生活グループ（☎26－7871）
（総合ケアセンター「ゆくり」内）

3月のまちの話題

小・中9年間を見据えた取り組みに対し表彰

厚真中央小学校が胆振管内教育実践表彰を受ける

厚真中央小学校（久葉忠男校長）が平成26年度胆振管内教育実践表彰を受け3月4日、同校で表彰状の伝達式が行われました。

厚真中央小学校は、平成24年度から文部科学省の教育課程特例校の指定を受け、1学年から英語・外国語活動を位置付けた教育活動を実施。また、算数科の指導方法工夫改善による学習指導の充実や国語科の言語活動の充実、地域の教育資源を活用した教育活動により、児童が知的好奇心や探究心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を育む活動を推進しているほか、家庭と連携し、授業と家庭の学びをつなげる学習習慣の定着等の取り組みを進めています。

今回の表彰は、文部科学省教育課程特例校として、小・中学校9年間を見据えた各学年での英語活動など、先進的な英語教育の実践への取り組みや、明るく人と関わり自己表現できる児童の育成の成果などへの功績が認められたもので、町内の学校では初の表彰となりました。

伝達式では、篠原正行胆振教育局長が祝意を述べ久葉校長に表彰状を伝達。久葉校長は「本校が特例を受けて3年目ということで、一つの節目の年に町内の学校を代表して表彰を受けさせていただき、大変ありがたく思っています。来年度からまた特例の第2ステージに入るのので、全町の学校をあげて英語教育を進めていきたいと思っています」と受賞の喜びと抱負を語っていました。



篠原胆振教育局長から表彰を受ける久葉校長

厚真町出身の瀬尾さん（苫小牧市）が地方創生事業へ寄附

3月19日、住拓工業株式会社（苫小牧市）の瀬尾清代表取締役が町長室を訪れ、地方創生に関する取り組みのためにと町に100万円の寄附を行いました。

豊丘出身で、苫小牧厚真会の会長も務める瀬尾さんは「ふるさと厚真を思う気持ちが強く、何か厚真町に貢献したいと考えた。また、2代前の町長の時から上厚真の開発を呼びかけてきたが、近年、上厚真市街地の整備が進んでいることを喜ばしく思っている。今後もまちおこしで人を呼び込む政策を進めてください」と話していました。



ふるさとへの寄附ありがとうございます



目録を手にする中屋理事長と宮坂町長

苫小牧信用金庫が地域創生の取り組みへ寄附

3月20日、苫小牧信用金庫の中屋功理事長が町長室を訪れ、地域創生に関する事業に対して町に200万円を寄附し、宮坂町長へ目録を手渡しました。

中屋理事長は「地域貢献の一環として、地域の発展のために役立てていただきたく寄附させていただいた。地域創生の取り組みなど、地域づくりに役立てていただければ」と話し、宮坂町長は「いつもご寄附をいただき感謝しています。町の産業や経済力の増進につながるよう使わせていただきます」とお礼を述べていました。

厚真とハスカップの歴史を学ぼう 厚南中でハスカップMIRAIゼミ

3月18日、厚南中学校（村田宏文校長）で『ハスカップMIRAIゼミ』が開催され、1・2年生23人が町の特産品であるハスカップについて学び、理解を深めました。

厚真町グリーン・ツーリズム運営協議会（宮西政志会長）が主催。初めに、町内でハスカップ農家を営み、地域特産物マイスターの資格を持つ山口善紀さんが、厚真町とハスカップの歴史や自身の体験談などを講義。講義の中では、品種登録されている「あつまみらい」と「ゆうしげ」と在来種との食べ比べも行われました。続いて、平成25年に開催された『あつま子ども未来議会』で、当時、上厚真小学校6年生だった渡邊咲羅さん、清野綾花さん、兼本海音さん（現・厚南中1年生）が提案した企画を参考に、町内で菓子店を営む木村信江さんが改良を加えたハスカップパフェの試食会が行われ、生徒たちからは「おいしい！」という声がかこえていました。



ハスカップパフェを試食する生徒たち



企業があつまるくんの絵入り交通安全旗を寄贈

町内で工事を行っている勝幸辰建設株式会社（苫小牧市）の原田健彦課長が3月3日、役場を訪れ、地域貢献事業の一環として、あつまるくんの絵入りの交通安全旗20枚を厚真町交通安全推進委員会へ寄贈しました。勝幸辰建設株式会社に由る交通安全旗寄贈は、昨年10月に続き2回目。旗を受け取った小松豊直総務課長は「大切に使用させていただきます」とお礼を述べていました。



**12人が皆勤賞を受賞
高齢者大学修了式**

厚真町高齢者大学の修了式が3月25日、総合福祉センターで行われました。平成26年度の学生数は73人。うち12人が皆勤賞で、学長の宮坂町長が、出席した一人ひとりに賞状を授与しました。

宮坂学長は「皆さんには、1年間にわたってさまざまなことを自ら積極的に学んでいただきました。これまでの努力と頑張りには敬意と感謝を申し上げます」とあいさつを行っていました。

つみき園児がカレンダーをプレゼント

こども園つみき（宇佐美修一園長）のきりん組園児が3月28日、町長室を訪れ、園児たちが描いた絵や数字が入った手作りのカレンダーを宮坂町長へプレゼントしました。

代表の園児が、大きな声で「ぼくたちが作りました。カレンダーです」と町長にカレンダーを手渡し。宮坂町長は「どうもありがとうございます。大切に使用してもらいますね。皆さんはこの4月から1年生ですね。楽しみです」と、園児にお礼を伝えていました。



ともに過ごした日々を胸に抱いて 飛び立つよ 独りで 未来（つぎ）の空へ

厚南中学校全校合唱曲『YELL』より引用

3月 は旅立ち・別れの季節。

町内の保育園やこども園、小学校、中学校、高校でも卒園式や卒業式が行われ、園児や児童・生徒たちが友人や先生たちと共に過ごした学び舎を巣立ちました。



3 / 14 宮の森保育園卒園式



3 / 28 こども園つみき卒園式



3 / 19 厚真中央小学校卒業証書授与式



3 / 13 厚真中学校卒業証書授与式

それぞれの夢に向かって 大きく強く羽ばたけ厚真っ子



3 / 19 上厚真小学校卒業証書授与式



3 / 13 厚南中学校卒業証書授与式

まちの話題 plus

北海道選抜選手として小寺涼太くん(厚真中)が 東北中学校選抜野球大会に出場



兵頭教育長へ報告をする小寺くんと児島監督

3月14日、15日に宮城県仙台市で開催された、2015年楽天イーグルス杯第13回東北中学校選抜野球大会に、U-14北海道選抜のメンバーとして出場した小寺涼太くん(厚真中学校)と、道選抜の監督として大会で指揮を執った児島芳之監督(厚真中学校教諭)が3月17日、教育委員会を訪れ、兵頭教育長に大会結果等の報告を行いました。

道内各地から選抜された他の25人のメンバーと共に、昨年11月から合宿を重ねて大会に臨んだ小寺くんは「適度な緊張感を持って試合に臨めました。全道・全国の野球を見られて良かったし、いろいろと勉強になりました。来年はU-15入りを目指したい」と話し、兵頭教育長は「さらなる高みを目指して、これからも頑張ってください」と激励しました。

全国大会を前に練習の成果を披露

厚真郷芸保存会(畑嶋安雄会長)と保護者会による「日本太鼓ジュニアコンクール壮行会」が3月15日、総合福祉センターで開催され、全国大会出場メンバーらが練習の成果を披露しました。

厚真郷芸保存会は、幼児から大人まで24人で活動。3月22日に長野県で開催された日本太鼓ジュニアコンクールには、道南支部代表として小学生から高校生までのメンバー12人が出場しました。

壮行会には約150人が来場。迫力のある力強い太鼓の演奏に、会場からは大きな拍手が送られていました。



息の合った演奏を披露する小学生メンバーら

お茶会ミーティングで意見交換

町民と宮坂町長、兵頭教育長らが自由に語り合う「お茶会ミーティング」が3月18日、役場本庁舎応接室で行われました。今年で4回目となるこの企画。今回も女性の部と青年の部に分けて開催し、参加者と町長、教育長がざっくばらんに意見交換を行いました。

女性の部では、子育てや福祉、町のPRや広報等の配布負担の軽減、商店の誘致などについて、また、青年の部では、昨年の婚活イベントや昔の青年団のような集いの場づくり、就農希望者や農家の子弟に対する研修資金支援についてなど、さまざまな要望や意見が出されました。



町長らとざっくばらんに意見を交わす参加者

立派な自衛隊員になってとエール

自衛隊入隊予定者激励会が3月17日、総合福祉センターで開催され、宮坂町長や自衛隊関係者、自衛隊父兄会厚真支部会員、自衛隊募集相談員らが出席し、平成27年度に陸上自衛隊に入隊予定の中島結衣さん(富野)を激励しました。

中島さんが自衛隊員を目指したきっかけは「テレビ等で、災害現場で自衛隊の方たちが救助活動をしているのを見て、自分も体を動かすことが好きなので、人を助ける活動ができたと思った。訓練等は辛いと思うけれど、くじけないで頑張りたいです」と抱負を語っていました。



中島さんを囲んで記念撮影

人のうごき

3月1日～3月31日届出分

(おこわり)
上記は、窓口などで、広報紙への掲載につ
いての確認ができた方を掲載しています。

ゴールデンウィークの ごみ収集について

5月3日(日)
～5月5日(火)

上記の期間、ごみ収集を休み
ます。

自己搬入の受け入れも行い
ませんので、ご協力をお願いし
ます。



■問い合わせ先
安平・厚真行政事務組合 (22-3151)

キッズ5月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報



月	火	水	木	金
				1 開放日
4 休館日	5 休館日	6 休館日	7 開放日	8 開放日
11 開放日	12 開放日	13 あそびの広場 『クマのタオル掛け』 ※前日までに予約してね!	14 開放日	15 開放日 ※園ホール開放日
18 『Helloえいご』 開放日	19 子育て講座 『ソフトエアロ』 ※予約必要	20 びよびよ広場	21 開放日	22 開放日 ※午後「玩具洗い」 のため休館
25 開放日	26 開放日	27 あそびの広場 『ばっくんアニマル』 ※前日までに予約してね!	28 開放日	29 開放日

※第3水曜日の午後はサークル活動日です。お母さんたちの集まりの場にご利用
ください。(予約必要)

※利用時間 午前10:00～11:30、午後1:00～4:00

※『あそびの広場』 10:00～11:30

1歳～就学前までのお子さんご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、
季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。

※『Hello えいご』 開催日の午前中
ALTの先生が来てくれます。遊びながら楽しく英語に触れることができます。
年齢に関係なく、興味のある方はぜひお越しください!

※『びよびよ広場』 10:00～11:30

0～1歳までのお子さんご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、
親同士の情報交換の場としてご利用ください。

※電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、そのほ
かお問い合わせは☎27-2438(直通) 子育て支援センターへ!!



「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正
解者の中から抽選で5人に『図書カード』と『あ
つまくんコースター』をプレゼントします。

問 題

高齢者大学の修了
式で、皆勤賞を受賞
したのは何人だっ
たでしょうか?



▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・
住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のこ
とについての意見・感想等を書いてください。

▶しめ切り(当日消印有効) 4月30日(木)

▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120
厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)

【3月号の答え】 約4300個

【3月号の正解者】

3月号は13人応募で全員正解でした。抽選の結
果、当選された方には後日賞品を発送します。

クイズ・わかるかな?

みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん
教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328

みんなの
声



マチの善意



(おこわり)
上記は、窓口などで、広報紙への掲載につ
いての確認ができた方を掲載しています。

子育て講座『ソフトエアロ』を開催します

◆日 時 5月19日(火) 10:15～11:00

◆場 所 児童会館
(集合：子育て支援センター「ゆうゆう島」)

◆講 師 「ゆくり」運動指導員

◆持ち物 運動靴、汗拭きタオル、水分

◆服 装 動きやすい服装でお越しください

◆対 象 就学前のお子さんをお持ちの保護者で
したらどなたでも

◆締 切 5月12日(火)まで
※人数把握のため、必ず予約をお願い
します。

※託児あり。(必要な方は、必ずお
知らせください)



【お問い合わせ・申し込み先】
子育て支援センター (☎27-2438)

あつま未来箱・インターネットでの意見等受理状況

■受理状況 平成27年3月受理件数 4件(未来箱4件)

あつま未来箱は、厚真町役場本庁舎、総合ケアセンターゆくり、青少年センター、厚南会
館、あつまクリニック、桂歯科クリニック、厚真歯科の町内6カ所に設置されているほか、F
AXや厚真町公式ホームページ(電子意見箱)を利用することができます。

■ご意見の紹介(一部)

●毎週ゆくりのプールを利用していますが、プールから上がる場所に手すりがないため、
プールから上がった方がふらついているのを見かけます。転倒の危険があるので、手すり
を設置したほうが良いと思います。

担当から プールから上がった直後にふらつく方がいるとのことですので、運動のし過ぎに
注意するとともに、プールのスロープから更衣室までの壁側に手すりを早急に取り
付けます。

■電子意見箱について

自宅から簡単に意見を投稿することができる「電子意見箱」が、町公
式ホームページに設置されています。トップページの左側バナー欄に
「町への意見」がありますので、ご利用ください。

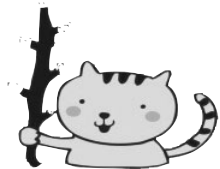
【厚真町ホームページ】 <http://www.townatsuma.lg.jp/>

■あつま未来箱・電子意見箱についての問い合わせ先
役場まちづくり推進課 企画調整グループ (☎27-3179)



今月の担当
保健師
阿部 幸子

ストレスとの付き合い方



「ストレス」は、現代社会とは切っても切れないものであるといえます。いや、もしかしたら原始時代も、単にストレスという言葉がなかっただけで、生き残るために現代より大変だったと思われま

脱力することで、体が緩んだ状態をつくり出します。

◆自己統制法

ストレスがあると、血管が収縮して血液の巡りが悪くなり、手足の温度が下がります。そこで、リラクセスした状態を作り出すよう、手足の温かさを自分でコントロールできるようにして血液の巡りを良くします。

※ただし、統合失調症や重いうつ病のある人は、担当医に相談してから行いましょう。

ストレス対策のコツ

ストレス対策のコツは「力まず」「避けず」「妄想せず」の3つです。

「力まず」は、体からリラクセスすること

◆体が緩んだ状態をつくる
肩の筋肉に力を入れ、一気に

①目を軽く閉じて座り、太ももの上に手のひらを置く。全身の力を抜く。

②両手のひらに温かさを感じる。

「妄想せず」は、心を「今」に向けてトレーニング

③両肘から両手の先までに温かさを感じる。

④後悔や不安がどんどん膨らんでしまうときは、浮かんできた考えに「〜と考えた」と付け足します。

自分が考えただけなのだ、と

「避けず」は、根本の問題を避けずに取り組むこと

「認知行動療法」という自己主張のトレーニング法があります。思考パターンや行動パターンを、医師や心理士の指導のもとで変えていく治療法です。

⑤消去動作を行う
息を吐き出しながら、親指を

いうことが明確になります。妄想から抜け出す最も初歩的な方法です。

②1つのことを考え続けないうめに行います。

ゆったりと流れる川のほとりに腰を下ろしている状態をイメージします。何か考えが浮かんできたら、葉っぱの上に考えを塊として乗せるイメージをします。これは、考えに飲み込まれないようにするためのトレーニングです。

葉っぱではなく、走る自動車にのせるイメージなどでもいいです。

③5感を研ぎ澄ませつつ、余計なことがあまり浮かんでこないようにするトレーニングです。

【やり方】
①日常生活の一つひとつの音5〜6種類に1分ずつ集中する。(5〜6分間)

②10〜15秒間ずつ、一つひとつの音に注意を切り替える。(5〜6分間)
③すべての音に同時に注意を向ける。(2〜3分間)



ほけんの掲示板 5月



乳児健診



とき・ところ 13日(水) 総合ケアセンターゆくり
受付 個別にご案内します
対象 H26. 11. 5〜H27. 2. 13生まれ(3〜6カ月)、またはH26. 5. 5〜H26. 8. 13生まれ(9〜12カ月)のお子さん
持ち物 母子健康手帳、バスタオル
※3〜6カ月のお子さんは、アンケートとBCG問診票も必要です。(押印の上お持ちください)

3歳児健診



とき・ところ 20日(水) 総合ケアセンターゆくり
受付 個別にご案内します
対象 H24. 1. 15〜H24. 5. 20生まれのお子さん
持ち物 母子健康手帳、アンケート類、早朝尿、バスタオル、歯ブラシ

MR混合(麻しん・風しん)予防接種



とき 25日(月)〜29日(金) ※28日(水)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00〜11:30、14:00〜16:30)
対象児 ①生後12カ月〜24カ月までのお子さん
②H21. 4. 2〜H22. 4. 1生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 ①②の方: 母子健康手帳、印鑑

献血



とき 26日(火)
ところ 総合ケアセンターゆくり 10:00〜12:00
厚南会館前 13:30〜14:30

四種混合予防接種 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)



対象児 生後3カ月〜90カ月までのお子さん
標準的な接種時期と接種間隔
※初回接種(3回): 生後3カ月〜12カ月に20日〜56日の間隔で3回。
※追加接種(1回): 初回接種終了後から12カ月〜18カ月後に1回。
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。

小児マヒ(ポリオ)予防 不活化ワクチン接種

(標準的な接種年齢: 生後3カ月〜12カ月)
対象児 生後3カ月〜90カ月までのお子さんで、1期初回および追加に該当するお子さん
※生ポリオワクチンをすでに2回受けている方は、接種の必要はありません。
※できるだけ標準的な接種年齢の間で接種を受けてください。
※不明な点がありましたら、町保健師にご相談ください。

ヒブ感染症※1・小児肺炎球菌 感染症※2予防接種

対象児 生後2カ月〜60カ月に至るまで
標準的な接種時期と接種間隔
〔※1・2共通〕初回接種開始: 生後2カ月〜7カ月
〔※1の追加接種〕初回終了後、7〜13カ月
〔※2の追加接種〕生後12カ月〜15カ月
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。

上記の予防接種の「とき」・「ところ」・「受付」・「持ち物」については、すべて下記のとおり(共通)です。

とき 毎週 月曜日〜金曜日
(木曜日午後と祝日は休診です。)
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00〜11:30、14:00〜16:30)
持ち物 母子健康手帳、印鑑

日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電話番号(0144)	
3日 (日・祝)	内科系	とまこまい北星クリニック	拓勇東町4-4-6	57-8000	(診察時間) 9:00〜17:00 当番医は変更になることがあります。 新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。
	外科系	とまこまい脳神経外科	光洋町1-12-20	75-5111	
4日 (月・祝)	内科系	方安庵青雲町クリニック	青雲町2-12-16	61-5555	(お知らせ) 『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。 ●ホームページアドレス http://www.qappref.hokkaido.jp ●電話 フリーダイヤル 0120-20-8699 011-221-8699
	外科系	苫小牧泌尿器科・循環器内科	明野新町2-1-12	57-0455	
5日 (火・祝)	内科系	苫小牧東病院	明野新町5-1-30	55-8811	
	外科系	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151	
6日 (水・祝)	内科系	浪岡内科消化器科クリニック	東開町4-20-18	51-2811	
	外科系	江夏泌尿器科医院	木場町2-8-1	33-3855	
10日 (日)	内科系	川村クリニック	有珠の沢町4-20-31	74-5577	
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221	
17日 (日)	内科系	桜木ファミリークリニック	桜木町2-25-1	71-2351	
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000	
24日 (日)	内科系	やまざきこども医院	大成町2-3-1	75-1133	
	外科系	みらい整形ペインクリニック	北栄町1-22-19	53-7100	
31日 (日)	内科系	柴田内科循環器科	桜木町1-24-18	71-2225	
	外科系	苫小牧東部脳神経外科	北栄町2-27-12	53-5000	

苫小牧市夜間・休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜 日	受 付 時 間	
月曜日〜金曜日	19:00〜翌朝7:00	※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。 【住所】苫小牧市旭町2-9-2 (☎0144-35-0001 / ☎0144-35-9099)
土曜日	14:00〜翌朝7:00	
日曜日・祝日	9:00〜翌朝7:00	

「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
【ホームページ】http://www.toma-med.or.jp
また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
【携帯電話用URL】http://www.toma-med.or.jp/phone/
※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承願います。

今月のつぶやき

晴れた日には、遠くの山がよく見えます。日高山脈は子どもたちが見慣れた山でしたが、少し離れてみると、はっとするほど壮大に見えます。近すぎると見えにくいものもあるんだなあと思いました。



確定申告

確定申告の内容が
間違っていたときは

提出した確定申告書に、計算誤りや申告漏れなど申告内容に誤りがあることに気付いた方や、確定申告書の提出を忘れていた方はいませんか。もう一度ご確認ください。

税額を多く申告していたことに気付いたときは、「更正の請求書」を提出して、正しい税額への訂正を求めることができます。

また、税額を少なく申告したことに気付いたときは、「修正申告書」を提出して、正しい税額に修正してください。

なお、確定申告書の提出を忘れていた場合は、速やかに提出してください。

詳しくは、苫小牧税務署へお尋ねください。

■問い合わせ先

苫小牧税務署（☎0144-32-3165代）

募集

厚真町高齢者大学
新入生募集中!!

町では、老人福祉事業の一環として、高齢者自らが社会参加し、生きがいを高めるため「高齢者大学」を開校しています。

情報

パソコン講習を
行っています

苫小牧地域職業訓練センターでは、毎月、パソコン講習を行っています。

5月は初心者向け2コース（インターネットの検索とメール、ワード初級、中級者向け1コース（ワード中級）、上級者向け1コース（ホームページ作成）の計4コースを実施予定です。

■講習の日程・受講料など

詳しくは苫小牧地域職業訓練センターまでお問い合わせください。

■問い合わせ先

苫小牧地域職業訓練センター（ホームページ）
<http://www.tomakomai.ac.jp/>

（☎0144-55-6622）

詐欺被害

家族の絆を深めて怪しい
電話を見抜きましょう

苫小牧警察署管内で、振り込め詐欺に関する不審電話が相次いでいます。

家族間の連絡をまめに取り、近況を確かめ合い、絆を深めて不審な電話に対する抵抗力をつけましょう。

家族だけがわかる「合言葉」を決めることも有効です。

【特殊詐欺の被害に
遭わないポイント】

●「ゆうパック、レターパック、宅配便で現金を送って」は詐欺！

現金は、現金書留以外では送付できません。

●「ATMから携帯で連絡して」は詐欺！

ATM操作で還付金を受け取ることはありません。

●「電話番号が変わった」は詐欺！

新しい番号をうのみにせず、もともとの電話番号にかけて確かめましょう。

●「必ずもうかる」などのうまい話はありません！

「口ト6などの当選情報がある」は詐欺です。

■問い合わせ先

苫小牧警察署（☎0144-35-0110）

警察相談専用電話#9110



技能検定

技能士を目指す皆さんへ
技能検定試験のご案内

国家試験である、平成27年度前期「技能検定」の申請書受付

また、道のホームページからもダウンロードできます
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/djb/singikai/singikai.htm>

なお、提出された書類はお返してできませんので、ご了承ください。

■募集期間

平成27年5月1日（金）まで（5月1日の消印有効）

持参される場合は、締め切り日の17時30分までとします。

■選考

選考委員会において、作文および応募用紙記載内容により総合的に判断します。

プレミアム付き商品券の
発行等のお知らせ

厚真町商工会とJAとまこまい広域農業協同組合厚真支所で組織する「厚真町地域活性化商品券実行委員会」では、国の経済対策で新たに創設された交付金制度を活用し、プレミアム付き商品券（プレミアム率：20%）の販売を予定しています。

- 1口の金額：1万円（額面1万2千円）
- 1人の購入限度口数：2口
- 商品券の使用期間：7月～12月

引き替え（販売）期間・販売場所等

引き替え（販売）期間や販売場所等は、6月上旬に役場（共催）から全町民に郵送するハガキの他、厚真町商工会のホームページ等でご確認ください。

住民記録システムのデータを使用します

ハガキ郵送の際には、町が平成27年6月1日現在の住民記録システムのデータ（氏名、世帯主名、郵便番号、住所）を利用します。

なお、町による住民記録システムのデータの利用を望まない方は、5月31日までに役場産業経済課までご連絡ください。

※ご注意

住民記録システムのデータの利用を望まない方は、役場から郵送される案内ハガキ（引き替えハガキ）が郵送されませんので、商品券の購入はできません。

■問い合わせ先

役場産業経済課商工観光林業水産グループ
（☎27-2486）

選考の結果につきましては、6月下旬までに応募者全員にお知らせします。

■委員の仕事

選ばれた委員には、道が選任した学識経験者等の委員とともに、北海道の男女平等参画の推進に関する施策等についてのご意見をいただきます。

■報酬等

審議会に出席した場合は、道の定めるところにより、報酬および旅費をお支払いします。

■参考

「北海道男女平等参画推進条例」、条例に基づき策定した「第2次北海道男女平等参画基本計画」および当審議会の過去の開催状況については、道のホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/djb/index.htm>

■問い合わせ・応募先

北海道環境生活部くらし安全局道民生活課 男女平等参画グループ（〒060-8588
札幌市中央区北3条西6丁目道庁本庁舎12階 ☎011-204-5217 FAX 011-232-4820）





お が た ゆう あ
尾形 優杏ちゃん



なか い ゆうだい
中居 侑大く ん



まちのアイドル

☆ 383 ☆



ながさわ りつ
永澤 律く ん



さ さ き りょう か
佐々木 椋加ちゃん